

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|-----------------------|
| 事業所番号 | 3092200058 |
| 法人名 | 有限会社 オカヒロ |
| 事業所名 | グループホーム ちかの |
| 訪問調査日 | 平成 20年 10月 20日 |
| 評価確定日 | 平成 20年 12月 4日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま |

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 3092200058 | | |
| 法人名 | 有限会社 オカヒロ | | |
| 事業所名 | グループホーム ちかの | | |
| 所在地 | 〒646-1402 和歌山県田辺市中辺路町近露1358-1 (電話) 0739-65-8500 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま | | |
| 所在地 | 和歌山市四番丁52ハラダビル2F | | |
| 訪問調査日 | 平成20年10月20日 | 評価確定日 | 平成20年12月4日 |

【情報提供票より】(平成20年10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------|--------|---------------------|
| 開設年月日 | 平成 19年 11月 1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 | 6人, 非常勤 3人, 常勤換算 9人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造平屋造り | | |
| | 1 階建ての | 1 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 50,000 円 | その他の経費(月額) | 21,000 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 350 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり | | 1000円 | |

(4) 利用者の概要(平成20年10月 1日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|-------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 86 歳 | 最低 | 78 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 田辺中央病院 近野診療所 |
|---------|--------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設1年目のホームは近隣に民家が点在する自然豊かな高台に位置している。明るく風通しのよい室内では入居者各々が生きいきとした表情で自分の役割を持って生活しており、入居者・スタッフが共に支え合うことができる取り組みがみられる。広い敷地内にある畑で作業をすることや近所のスーパーや喫茶店に出かけることを日常的に支援しており、地域住民と共に生活していくための本人の力を導きだそうと働きかけている。精神的に不安定な状態がみられても薬に頼らないで関わりを重視したケアをおこない、スタッフ全員が自己研鑽していこうという姿勢が見受けられる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 今度が初めての外部評価である。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の自己評価は運営者・管理者が中心に行った。サービス評価の意義や目的を全職員が共有し改善にむけて積極的に取り組めるように、全職員が回覧している。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 2ヶ月に1回開催され、日々の様子を写した写真を参考に職員がどのように入居者にかかわりをもちケアにあたっているかを報告している。現状報告と共に課題となっていることを提示し意見を出し合っている。メンバーとして入居者家族、地域住民の代表等と診療所の所長が参加しているが、市の担当者や地域包括支援センターからの参加はない。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 定期的に訪問のある家族には、その都度日頃の様子や健康状態を報告している。訪問回数の少ない家族には、電話連絡で不定期に日々様子や健康状態を報告している。9月には運営への反映を目的に家族の集まりを持ち、報告を行うと共に意見交換を行った。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会に加入している。地域の職員が多いので情報も得られやすく、町内マラソンの応援等地域の行事には入居者と共に積極的に参加するようにしている。また、日常生活の中で近くのスーパー・喫茶店に入居者と一緒に出かける支援を行い、近隣の住民との交流を深めている。 |

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | スタッフ全員で入居者・家族共にサポートしてという想いをこめて、自分たちが応援者であるということを理念としているが具体的なことは示されていない。 | | さらに、地域との関係性を重視し、地域密着型サービスとしての役割を目指した「地域の中でその人らしく生活する事を支えるケア」の具体的なイメージを持って理念を作りあげることが期待したい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 「わたしたちは応援者です」と、共用空間に常時掲示し、スタッフは日々理念にのっとったケアを提供できているかを振り返るように意識付けている。施設長は、半年に一回の面談で、スタッフが理念を意識しているか等聞き取るように努めている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 職員に地域住民が多いこともあり地域の情報は得られやすく、町内マラソンの応援等地域の行事には積極的に入居者と共に参加するようにしている。また、近くのスーパー・喫茶店に入居者と共に出かけ近隣の住民との交流を深めている。 | | |
| 3. 理念を实践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | サービス評価の意義や目的を全職員が共有して、改善に積極的に取り組んでいきたいと考えている。今回の自己評価は、運営者・管理者の考えを踏まえ、スタッフ全員が回覧し、共有している。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回、日々の様子を写した写真を参考に、職員がどのように入居者にかかわりをもち日々のケアにあたっているかを報告するとともに課題等を提示し討議している。入居者家族の他、地域の医師、地域住民代表者等が参加している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市担当者に、制度上の疑問等に対して電話等で相談し、助言を受ける事でサービスの質の向上に努めている。運営推進会議への市の担当者や地域包括支援センターからの参加は無い。 | | 介護保険の保険者としてはもちろん、市民福祉を推進する地方自治の最前線の立場である市担当者の運営推進会議への参加も含め、事例の相談など積極的な連携に取り組んでいくことができるように期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の訪問時に日頃の様子や健康状態を報告しており、行事の写真は共用空間に掲示している。訪問回数の少ない家族には電話で不定期に日々様子や健康状態を報告している。スタッフ紹介は玄関に顔写真を掲示している。 | | 入居者を思う家族の想いを気遣う意味で定期的に入居者の健康・生活状況を書面で全ての家族に報告することが望まれる。なお入居者の写真は私物と認識して居室に飾ったり、アルバムに収めて見られるようにする等が望ましいと考えられる。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 9月には、運営推進会議として家族の集まりを持ち、運営に関する報告をすると共に家族からの意見を聞くことができた。 | | 「今後は年1回から2回は家族中心の家族様の意見等を反映する場をつくれるよう努力したい。」と言われるように、今回の会議を機会に今後、運営推進会議とは別に家族会の構築に期待したい。 |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の交代は少ないが、その際は既存の受け持ちスタッフと重複させて、ホームの特色を理解してもらい、入居者とも自然な関係が持てるようにして入居者へのダメージを防ぐように配慮されている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 認知症実践者研修への参加を積極的に取り入れているが、経験日数が受験資格に満たない職員が多い。常勤・非常勤共にケース担当をもちケース検討による研修会を行っている。 | | 職員の資質向上意欲に応じて、認知症実践者研修のみならず、各種研修の機会が提供される事が望まれる。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員を含めた同業者間の交流は行っていないが運営者・管理者は同業者からのアドバイスも受け、サービスの質の向上に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に数回、本人・家族にホームを訪問してもらい、他の入居者と接している本人の適応性を観察し、本人・家族に入居の意思を確認している。また、帰宅願望が強い場合は家族の協力を得て、ホームと外泊を繰り返して徐々にホームに慣れるように支援している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者本位の生活の流れを大切に、お互いが支え合って生活できるように取り組まれており、和やかな雰囲気作りや声かけに配慮している。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 事前に情報を集め就寝時間や外出・入浴も本人の生活リズムを尊重し見守り支援している。畑仕事の好きな人には行きたい時に畑へ行けるように支援している。入居者に関する情報は職員全体で把握されているが記録はやや不十分である。 | | 職員各々が経験的に支援する中で得られた入居者の思いや意向が新しい職員にも共有しやすくできるように、記録システムの構築を期待したい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 家族・本人の言動や思いが介護計画に反映されている。カンファレンスを行い、スタッフの意見も共有している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的にも、状態変更時に計画の見直しがされている。モニタリング・ケース会議等を定期的実施している。 | | 計画の変更時には、変更日時がわかるように日付を記載することが望ましい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 2週間に1回近隣の診療所の医師が往診、1週間に1回看護師が訪問し、入居者の定期的健康管理に努めている。さらには、昼夜問わず、緊急時には対応・往診出来るよう連携を密にしている。運営推進委員会にも、医師の出席を得ている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 普段は家族・本人の意思を確認して、近隣の診療所の医師の往診により健康管理・適切な医療が受けられるよう支援している。それ以外の希望する医療機関への受診は家族が伴っている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に、重度化・終末期のあり方を、家族に相談・説明し同意を得て契約の締結を行っている。ターミナルの経験はまだ無いが、医療との連携により受け入れの準備は整えられている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個々のプライバシーを尊重し、自分の居室に施錠を希望する入居者には鍵を渡している。トイレ誘導時には入居者の誇りやプライバシーを損ねないように努めている。記録等の個人情報はスタッフルームできちんと保管されている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の生活の流れを阻害することなく、畑仕事・外出・掃除・洗濯・趣味の時間など個々の希望に添って支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者・職員が一緒になって、個々の可能性を尊重して準備・食事・片付けができています。入居者が気の合う人の側にすわり、楽しく会話しながら食事できるように配慮されています。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日に関係なく、個人の状況に合わせて入浴を提供している。一人での入浴も希望に添って危険のないように見守りながら支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの可能性を見出し、調理・食事の用意・後片付け・掃除・屋外の花壇・畑作業・草むしり・洗濯干し・手芸等、役割意識・張り合いのある日々が送れるように支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買物・畑作業・花壇の世話・喫茶等、屋外での活動を支援している。一人で自立したい入居者に対しても、本人の意欲を損なわないように、常時付き添わず距離を置いて危険の無いように見守っている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者及び全ての職員が、施錠しないケアを理解し支援している。入居者が外出しそうな様子を察知したら、さりげなく後について行って安全面に配慮し自由な行動を妨げないように支援している。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 地元消防署立会いの避難訓練・消火器の使用訓練等半年に1度実施している。訓練については地域に事前に知らせると共に当日地域内の放送で伝達している。災害に関するマニュアルを作成しスタッフ全員が見えるところに掲示している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 各々の食事摂取量等を記録して、摂取量の把握に努めている。咀嚼・嚥下能力に応じた食事の形態に対処しているが、水分量については記録されていない。 | | さらには、水分量についても一日を通じて確保できるように記録して把握されるように期待したい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 職員の制服や掲示物等、せっかくの家庭的雰囲気、気が少し損なわれている部分もみられたが、共有空間には昔ながらの家具や小物を飾りつけた畳のスペース・広い窓から出入り自由なウッドデッキなどが設置されており、明るく静かな環境で、落ちついて過ごせるよう工夫されている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は馴染みの家具・思い出の品物に囲まれ、個々の生活スタイルが維持できるように、また、居心地よく過ごせるように配慮されている。 | | |